

月刊 やちまなこ

2020. 4.15 発行

No.269

4月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

湖面を覆っていた氷も消え、群青色の、水辺に水鳥たちが羽を休めている。特にカワアイサの群れは日ごとに群れを大きくしながら、まるで湖を独占している感じだ。雪が所々残る湿原からエゾアカガエルの鳴き声が聞こえ、その甲高い鳴き声は早春の風とともに枯草色の景観の中へと広がって行く。季節はこのまま春へと歩んでほしい願望も天には届かず、川が氾濫する大雨、そして重たい降雪と、毎年のことだが、ここ数年災害を含む気象の変化が顕著だ。エゾアカガエルの鳴き声が一斉に消えた瞬間、ガサガサ、ジャバジャバと音がした方向から鋭い視線でこちらを見ているエゾシカの群れだった。



塘路フィールドノート【3/15～4/14】

【野鳥】

3月の大雨がもたらした湖面上昇の影響で水鳥の姿が少ない今年の春。例年どおり解氷期に集まってきていたワシたちも湖面の全面解氷とともにめっきり少なくなっていました。夏鳥たちの本格的な飛来が待たれる早春です。



オオワシ（塘路湖）

解氷が進む湖面すれすれを低空飛行する成鳥。この勇壮な光景ともしばしのお別れです



オジロワシ（シラトロ湖）

氷上で羽を休めていた成鳥。解氷期は探さなくてもワシの姿が容易に見つかります



ノスリ（塘路湖畔）

ワシに混じって時々見かけます。センター上空を通過して対岸方向へ飛んでいきました



マガモ（塘路湖）

今春は個体数が少なめ。湖面の水位が高く、餌を取りづらいことが影響しているようです



コガモ（サルルン沼）

塘路湖ではほとんど見なかった今春、どうやらここにいたようです。左端が♀であとは♂



ミコアイサ（塘路湖）

センター前の水域で見つけたペア。カモの種類が少ない中では比較的良好に見かけます



オオバン（塘路湖）

昨秋以来久々の確認。手前のヨシ原から現れ、目の前を悠々と泳いでいきました



ヤマゲラ（塘路湖畔）

春はヤマゲラをよく見かける季節。湖畔を歩くと、独特の鳴き声が聞こえてきます



ハクセキレイ（塘路湖畔）

昨年より5日早く飛来しました。センター周辺をウロチョロしている姿をよく見ます

【植物】

フクジュソウ・フキノトウの開花後、一旦小休止状態の花シーズン。その一方で、これから開花を待つ植物たちが次々に芽吹き出しています。雪解け後、茶色一色だった湖畔の草原に、鮮やかな緑の色彩が戻りつつあります。



シャク（塘路湖畔）

3月下旬に芽吹いたばかりの若葉。湿気のある場所や森の中などでよく見られます



エゾイラクサ（塘路湖畔）

まだ開ききる前の若葉。「刺草」の名のとおり、すでに茎や葉がトゲで覆われています



バイケイソウ（塘路湖畔）

芽吹き直後の可愛い新芽。これから初夏にかけてどんどん存在感が増していきます



クサノオウ（塘路湖畔）

パークゴルフ場付近で目立ってきています。5月下旬頃から初秋まで咲く息の長い花です



レンプクソウ（塘路湖畔）

5月に小さな花を咲かせるジミ～な植物。開花期より芽吹き直後の今の方が目立つかも



ギョウジャニンニク（塘路湖畔）

小さな芽がニョキニョキと顔を出しています。昨年より一週間ほど早い芽吹きです

◎あっという間に全面解氷

今年は植物の開花や野鳥の飛来など例年より春の便りが届くのが早い塘路湖畔ですが、湖面の解氷も例外ではなく、昨年より11日も早く4月4日に全面解氷となりました。特に3月下旬に気温が10℃前後まで上がる日が数日あったことで、一気に解氷が進み、気が付くと、あっという間に氷がなくなっていました。

氷も雪もすっかり解けた塘路湖では、春の風物詩アメマス釣りが始まっています。



数日前の暖気で湖岸付近の一部で解氷が見られる



湖岸付近は昼に解けて夜再び凍るという繰り返し



春の陽気で解氷部分が沖へ向かって一気に広がる



ほぼ全面解氷（写真奥にわずかに結氷部分あり）

○塘路湖畔に日暈が出現

3月下旬、塘路湖畔で面白い現象が見られました。朝からよく晴れていたその日、お昼近くになって空を見上げると、太陽に薄い雲がかかっており、周囲には虹色の輪が出ていました。これは日暈（ハロ）という大気光学現象で、薄雲の中の氷の結晶によって、太陽の光が屈折されて起こる現象だそうです。

日暈は天気の下り坂に向かうサインと言われていて、この現象が現れた後は6割の確率で雨が降るそうですが、この時はあとの4割の方だったようで、その後も2日間好天が続きました。

また、日暈は幸運のサインとも言われていて、この現象に巡り合うと、運気がアップするそうです。ただ、仮にそのことを知らなくても、太陽の周りを輪状の虹が囲むこの神秘的な光景を見ることができただけで、十分幸運だと思います。



5月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

春の湿原 野鳥観察会

[日 時] 5月4日(祝) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] シラルトロ湖・蝶の森(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

アイヌの自然観～植物編～

[日 時] 5月10日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター
(0154-65-2323) まで

早朝バードウォッチング

[日 時] 5月24日(日) 8時～10時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 3/15(5:34,17:29). 3/31(5:05,17:48). 4/14(4:41,18:04)

～編集後記～

■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当センターも3月は閉館していました。まだまだ予断を許さない状況ですが、館内利用についても皆さんの感染拡大防止のご理解とご協力が必要です。4月から6月にかけて風の強い日が多くなり、野火の発生しやすい頃となりました。屋外での火やゴミなどの管理には十分注意してください。また、熊の出没情報にもご注意ください。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料